

Q 3 : 道徳の資料を選択する際、どんな点に留意したらよいか。

A : 道徳の時間における資料は、児童生徒が内面的な自覚を深めていくための手がかりとするものである。また、児童生徒が人間としての在り方や生き方などについて考えを深め、学び合う共通の素材として重要な役割をもっているものでもある。資料の選択に当たっては、教師自身の心に響くものであるかどうかという観点が必要である。

また、児童生徒がより身近なこととして感じたり考えを深めたりするためには、教師自らが開発した資料を使用することも効果的である。

資料選択のポイントと資料開発の手順について、以下に示す。

なお、『小学校学習指導要領解説 - 道徳編 - 』（P.78～79）『中学校学習指導要領解説 - 道徳編 - 』（P.83～85）も、参照されたい。

資料選択のポイント

道徳の時間の資料として適切なもの

学習指導要領の趣旨に合致したもの
人間としての在り方や生き方についての自覚を促すもの
政治的・宗教的に中正なもの

ねらいを達成するために適切なもの

ねらいとする道徳的価値が分かりやすいもの ⇨ 教訓的になりすぎているもの
深く感じたり考えたりできるもの ⇨ ねらいとする道徳的価値が不自然な形で表れていないもの
一面的な見方や考え方に偏っていないもの
実践への意欲付けのできるもの ⇨ 望ましくない心情や行動を誘発しないもの

児童生徒の興味関心や発達段階から見て適切なもの

児童生徒が自分自身のこととして受け取れるようなもの
児童生徒が主体的に考えようとする意欲のわくもの
学年の発達段階に即した理解しやすい表現や内容のもの
児童生徒の各発達段階の道徳性にかなったもの

授業を展開する上で適切なもの

多様な価値観が引き出され深く考えることができるもの
指導過程が構成しやすく指導方法も工夫しやすいもの

資料開発の一般的な手順

指導のねらいの設定

- ・ 取り上げる道徳的価値は？
- ・ 道徳的様相の何を主に？

素材の発掘

- ・ 児童の実態 日記 作文
- ・ 教師の体験
- ・ 家族や地域の人々との触れ合い
- ・ 郷土に関わること
- ・ 書物 新聞記事 TVやVTR映像
- ・ インターネット資料 etc.

資料としての構成

- ・ 人物
- ・ 場面や状況
- ・ 中心となる場面
- ・ 主人公の行為 生き方
- ・ 葛藤場面 クライマックス
etc.

仕上げ

- ・ 他の教師に見てもらおう
- ・ 校内研修会での検討
- ・ 視聴覚資料の準備
- ・ 実際に授業で使用しての推敲

文章表現の工夫

- ・ 資料の具備すべき要件に合っているか？
- ・ 児童生徒の興味関心や発達段階から見て内容や分量
表記法に無理はないか？
- ・ 原則として1単位時間内で扱えるものか？

特に人権に関わる問題や著作権については、十分に配慮する。
常に素材の収集に努め、資料を見る目を養うことが大切である。
開発した資料や収集した素材は、道徳の時間以外での使用も考えられる。